



日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

第42回日本美容皮膚科学会総会・
学術大会

2024

8/31(土)

15:20

16:20

スイーツセミナー 2

ダーマコスメの新たな可能性

名古屋国際会議場

第4会場 [会議室 141+142]

座長：川島 眞 先生 / 東京女子医科大学 名誉教授

LECTURE

1

MELA B3セラムによる色素異常症への
ダーマコスメアプローチ

小林 美幸 先生 / 聖心美容クリニック熱海院

LECTURE

2

シカプラストリペアクリーム B5+による
ダウンタイム短縮及びQOL向上の可能性

大城 宏治 先生 / 大城皮フ科クリニック



日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

第42回日本美容皮膚科学会総会・
学術大会

座長

川島 眞先生

東京女子医科大学
名誉教授



LECTURE

1

MELA B3セラムによる 色素異常症への ダーマコスメアプローチ

顔面の色素異常症は、人口の約50%に見られる一般的な皮膚疾患であり、患者に否定的自己感情や孤立感を与え、QOLに大きな影響を及ぼす。メラニン生成の異常や分布の不均一が色素異常症の主な要因であり、主な治療法にはレーザー治療やトラネキサム酸などの薬剤使用があるが、長期的使用による副作用のリスクが懸念されるため、安全かつ有効なダーマコスメ製品のニーズが高まっている。本講演では、ロレアルが開発したMelasyll™配合のMELA B3セラムの安全性と有効性に焦点を当てる。Melasyll™は独自の作用機序でメラニン合成前駆体の捕捉を行い、異常なメラニン生成を抑制する。また、有効成分としてナイアシナムド、グリチルリチ

小林 美幸先生

聖心美容クリニック熱海院



ン酸ジカリウム、カルノシン、パルミチン酸レチノールが配合され、炎症と酸化ストレスの抑制、皮膚のバリア機能の向上を通じた全体的な美白効果が期待できる。世界各国で実施された臨床試験では、MELA B3セラムの使用により、恒久的シミとPIH肌において、肌の輝き、トーンの均一性、シミの認識性、色などの項目を4週目から改善が確認された。

また、日本における試験でも、美白治療との併用の安全性と有効性が確認された。結論として、MELA B3は様々な色素異常症に対する有効なアプローチとして注目され、今後の美白ダーマコスメとしての位置付けが大きく期待される。

LECTURE

2

シカプラストリペアクリームB5+ によるダウンタイム短縮及び QOL向上の可能性

美容皮膚科学の分野では、施術の後に生じる回復期間（ダウンタイム）が患者のQOLに大きく影響を与えることが認識されている。ダウンタイムマネジメントは、治療成果を最大限に引き出し、患者の早期の日常生活への復帰を支援するためには重要である。本講演では、シカプラストリペアクリームB5+の美容施術後のダウンタイム短縮への応用の可能性を検討する。シカプラストリペアクリームB5+は、肌のマイクロバイオーームバランスを

大城 宏治先生

大城皮膚科クリニック



整え、肌を修復することで、幅広い治療後の皮膚反応に対して症状を軽減し、ダウンタイムを減少させる効果を臨床試験で示している。その中、特に紅斑、浮腫、出血、痂皮形成、乾燥といった症状の発生率と重症度の軽減、そして皮膚のバリア機能の早期回復が観察された。加えて、UVケアとの併用で外部環境因子からの防御が向上することが期待され、肌修復とUVケアで、ダーマコスメが患者のQOL向上に果たす役割を検討する。